

# とちぎ夢大地応援団活動報告（平成30年10月21日実施）

## 那須烏山市大木須地区「休耕田・コウソ畑の草刈り」

国蝶オオムラサキの保全活動、ホタル観察会、そば祭り等活発な活動を行っている那須烏山市大木須地区の夢大地応援団活動が10月21日、応援団員24名、地元里山大木須を愛する会（川野邊眞会長）の会員13名の合計37名が参加して実施されました。応援団員の内訳は、一般団員10名、ボランティア団体・ナルク栃木の会員10名、関係機関4名です。

開会式では、川野邊会長が歓迎のあいさつを述べ、参加者全員で記念撮影を行いました。

草刈り作業は、地区の玄関口に当たる所の休耕田や2カ所のコウソ畑で行われました。コウソは烏山和紙の原材料にしようと植えられたものです。参加者は、背丈以上に伸びたセイタカアワダチソウやつる性の雑草などと汗びしょりになりながら格闘、2時間半で約60aの面積をきれいに刈り払いました。70代の男性参加者は「秋晴れのもと、微力だが地域の活性化の手伝いができ、清々しかった」と感想を語っていました。

昼食は、地区の女性たち手づくりの新米のおにぎり、野菜たっぷりのけんちん汁や漬物などが振る舞われられました。また食事の後には、地元の人たちや団員間で交流を深めました。



開会式の最後に参加者全員で記念撮影



歓迎あいさつを行う川野邊会長（左から3人目）



地区の玄関口に当たる所の休耕田の草刈り



コウゾ畑の草刈り



草刈機で刈れないコウゾの木の周りは手鎌での作業です



昼食は新米のおにぎりとけんちん汁



昼食と交流会の会場は古民家「おおぎす」の前庭でした

